

台湾での生活製品テスト販売のご案内

- 台湾市場での生活製品販売を検討する企業様向けに、テスト販売機会のご案内です。（経済産業省の事業ではありません。また、費用負担が発生します）
- 日本台湾交流協会が橋渡し役となり、日系協力小売店「台湾蔦屋」の一部店舗において商品の販売を行うことができます。また、商品展開に関するアドバイスや販売結果のフィードバックも受けることができ、台湾での商品販売の一步を踏み出すチャンスです。



※写真はご参考です。



※PRイベント(別途費用が発生します)。

概要

※ 詳細は次ページを参照ください。

- 場所: 台湾蔦屋
- 期間: 最大2ヶ月
- 費用: 平台レンタル2週間で約25万円～(期間や広さ、支援内容により大きく異なるため、詳細はお問合せが必要です。)
- 物品の輸送についても蔦屋に相談可能。各種調整は日本語で実施できます。

ご連絡先

経済産業省生活製品課 椎名・八木

bzl-t-seizo-seikatsuseihin@meti.go.jp

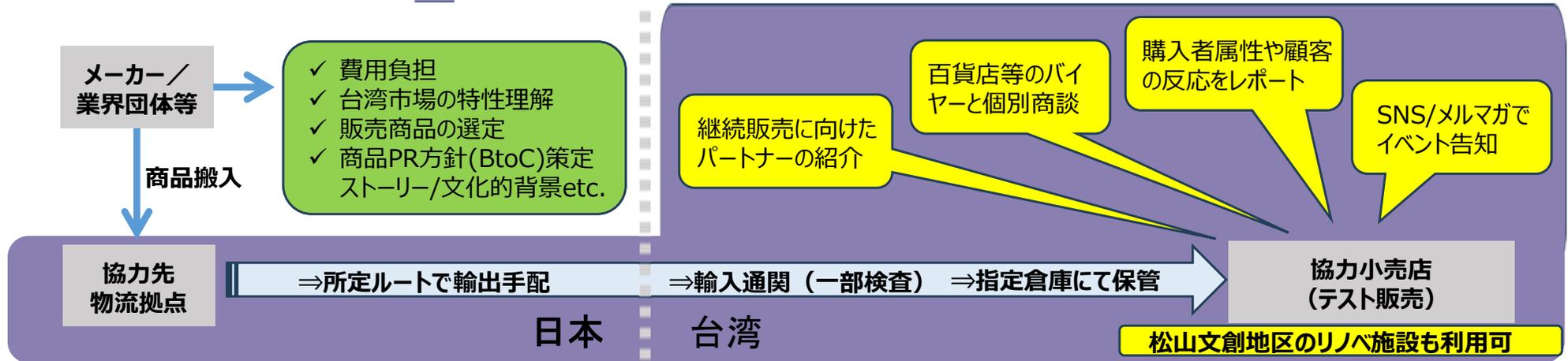
- ご関心の方は、まずは経産省にご連絡下さい。日本台湾交流協会におつなぎいたします。ご要望に応じて、同協会による説明会等も調整可能です。
- ご連絡いただいた方、全社のご参加をお約束できるものではございません。申し訳ございませんが、あらかじめご了承ください。

台湾における生活製品のテスト販売（輸出）支援スキームについて

本スキームの概要

日本台湾交流協会が台湾の日系協力小売店へ橋渡し

■ の部分は協力小売店と打ち合わせしながら実施



テスト販売のメリット

- 商品紹介とテスト販売をイベントとして実施
⇒販売テーマを設定し、セレクト商品としてPR
- 委託販売の結果についてフィードバックを受けられる
- 商品展開にかかるアドバイスが受けられる
- 売れ行き次第では現地代理店との商談(継続販売)も可能

想定される参加者の 主な負担費用

- 商品輸送費(含：通関費用、関税)
- 店舗スペース使用料
- 委託販売費用
- POP作成費
- イベント告知費用(SNS等活用)



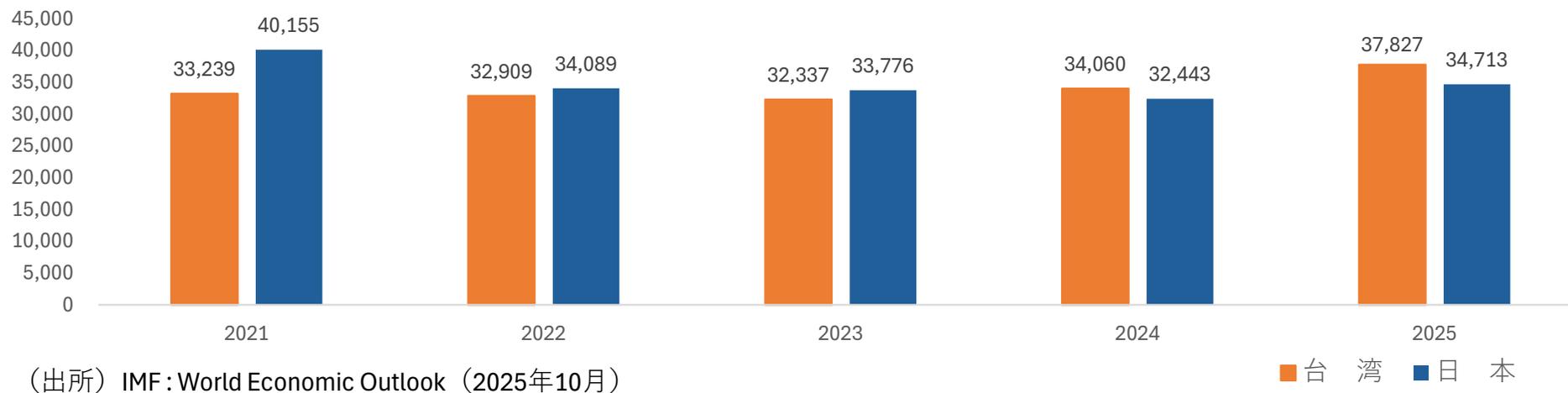
協力小売店での実際の販売の様子
(台北市内)

台湾市場の可能性

一人当たりGDPは台湾が日本を上回る

日本と台湾の一人当たりGDP

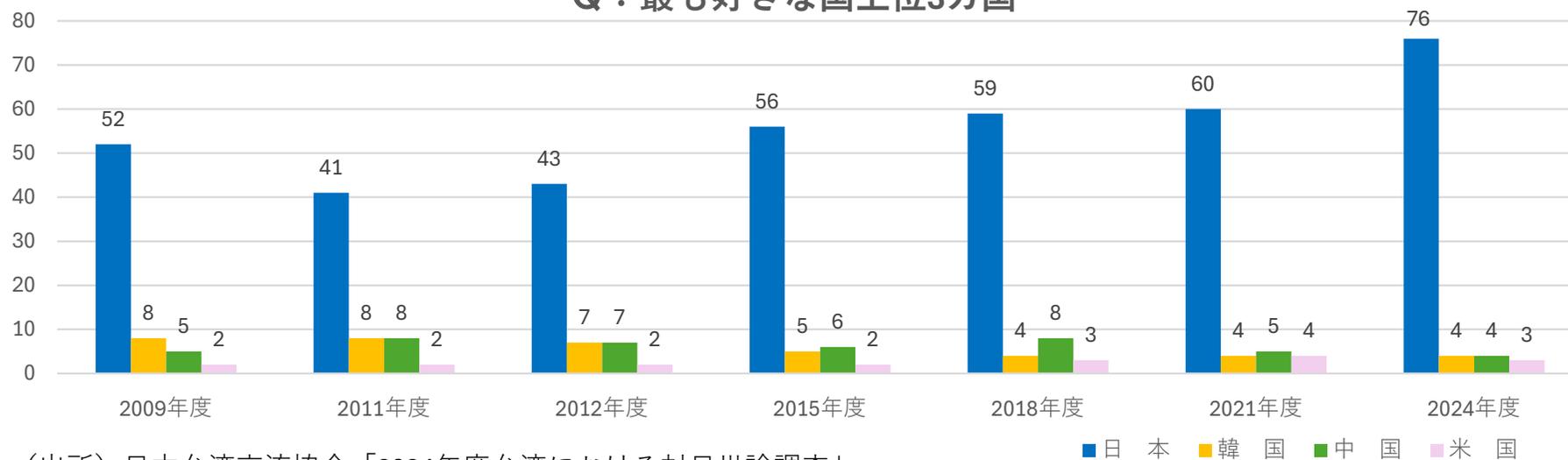
(単位：ドル)



台湾における日本の好感度 ～最も好きな国として日本が突出～

Q：最も好きな国上位3カ国

単位：%



(出所) 日本台湾交流協会「2024年度台湾における対日世論調査」









TSUTAYA BOOKSTORE 蔦屋

